



周南市の取組について

令和5年3月24日
周南市

水素需要の創出に向けた取組

★FCV^(※)等の燃料費を支援 (2022年9月～)

※ Fuel Cell Vehicle (燃料電池自動車)

事業概要

燃料費の支援により、**FCV等の普及促進、水素需要**の拡大を図る。

- 充填1回あたり**燃料費を1/2補助**
- **イワタニ水素ステーション山口周南の利用者を対象^(※)**
※市民であることを要件としない
- **水素燃料費の支援は全国初。**



山口県内唯一の水素ステーション(2015.8.4開所)
“イワタニ水素ステーション山口周南”

イワタニ水素ステーション山口周南で充填する燃料費が

半額

になります

令和4年9月12日 事業開始

本市における燃料電池自動車等の普及及び水素需要の拡大を推進するため、「周南市燃料電池自動車等燃料代補助金」を創設しました。

①補助の対象者
イワタニ水素ステーション山口周南(周南市飯島1丁目324番18)を利用する方
※市民であることを要件とせず、どなたでも対象となります。

②補助適用後価格
550円/kg (税込価格 605円/kg)
イワタニ水素ステーション山口周南で充填する燃料費の半額
※令和4年9月5日時点
単価 1,100円/kg (税込価格 1,210円/kg)

③事業期間
令和4年9月12日から令和5年3月31日まで

※本事業は、イワタニ水素ステーション山口周南の運営法人に対し、市が補助金を交付することにより実施します。
※利用者に直接補助金を支給する制度ではありません。

問い合わせ
〒745-8655 周南市城山通1-1
周南市 産業経済部 商工振興課 コンビナート振興推進課
電話 0834-22-8837(平日9時～17時)
Eメール shoko@city.shunan.lg.jp

★FCVの導入を支援(2015年度～)

事業概要

市内の**FCV普及、導入促進**を図ることで
カーボンニュートラルと水素の地産地消を推進する。

- 市民(法人含む)のFCV導入を支援
- 1台につき50万円(上限)を支援

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
実績(台)	3	3	3	2	-	1	2	0	14

2015～2017年度までは上限100万円
(うち山口県負担分：50万円)



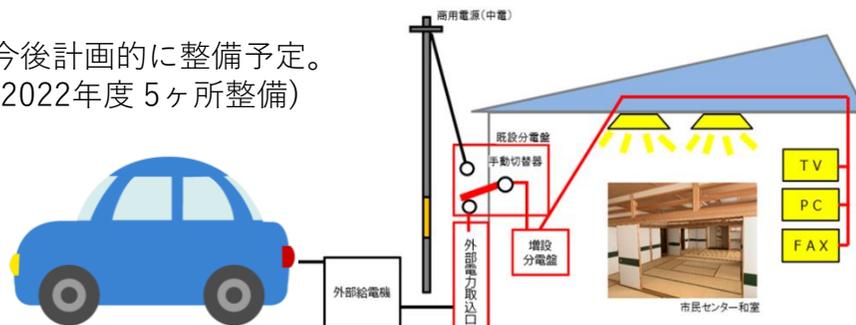
★V2H^(※) 対応公共施設の整備 (2022年度～)

※ Vehicle To Home (FCV等の電力を建物で利用すること)

事業概要

- 公共施設にFCV等で発電した電力の取入口等を整備する。
停電時に給電を可能とし、**防災機能**の強化につながる。
- 供給可能電力：1500W
 - 最大電力供給時間：40～60時間

※今後計画的に整備予定。
(2022年度5ヶ所整備)



水素エネルギー等関連施策の推進に係る連携協定（2022.6.15）

周南市と山口トヨタ自動車(株)、山口トヨペット(株)、トヨタカローラ山口(株)、ネッツトヨタ山口(株)及びトヨタモビリティパーツ(株)山口支社と**中国地方初**の水素エネルギー推進に係る連携協定を締結。



給電デモンストレーション



周南市
SHUNAN CITY

平日：公用車

×



株式会社トヨタレンタリース山口



休日：市民がカーシェアリングで利用



TOYOTA
SHARE

- **ご利用可能時間：9時～18時**
(周南市の公用車ですので、平日は周南市が使用します)
- **ご利用料金：9,900円/日** (税込み・水素代込み)
- **車内搭載の充填カードを使用して水素を満充填した後にご返却ください。**
※必ず17時までに水素の充填を済ませる必要があります。
- **ご利用には、専用アプリが必要です。**
専用アプリをアプリストアでダウンロードすることをご利用いただけるサービスです。



市民への普及啓発（2021年度～水素ワクワクみらい博）



次世代エネルギーを楽しもう。
 まるごと水素な一日体験

徳山下松港開港 100周年記念事業
水素ワクワクみらい博
 水素をつくろう！ふしぎ化学実験室
 水素で走ろう！燃料電池バスSORA
 燃料電池自動車MIRAI

11/5 sat 10:30-16:00
 10:30～オープニングセレモニー

JR 徳山駅北口駅前広場周辺および徳山下松港
※ご乗車の際は、公共交通機関または近隣の無料駐車場をご利用ください。

水素エネルギーによる未来の生活を
 未来を担う周南の子供たちに知ってほしい
 周南市は、産業用燃料電池自動車水素エネルギー車
 まつくりにはがかりため、さまざまな取り組みを行っています。
 将来の社会発展に向け、次世代エネルギーの普及について、
 関心や疑問、ご意見、お問い合わせもお待ちしております。

主催：周南市
 協賛：徳山商工振興局、シヤンパロパロ（株）、長州産業（株）、
 フォクシアフットボールクラブ（株）、（株）トクヤマ、
 株式会社周南市立総合福祉センター、徳山商工
 振興局、トヨタ自動車（株）、山口トヨタ自動車（株）、
 山口県立大学（株）、山口県立大学（株）、
 エンジン株式会社（株）、トヨタモビリティサービス（株）、
 山口県建設業協会（株）、山形山形
 建設業協会（株）の協賛（協賛費）
 問合せ：周南市建設課 TEL：0834-32-8637



第二次周南市水素利活用計画の策定について



2014 周南市水素利活用構想

■ 構想の期間

2014年度から2030年度までの17年間

基本理念

“水素エネルギーで未来を拓く水素先進都市「周南」”

【計画の基本目標】

- 水素の利活用促進に向けた環境の整備
- 水素の利活用による低炭素・省エネ・災害に強いまちづくりの推進
- 水素関連ビジネスの創出と市内企業の連携・競争力の強化

2015 周南市水素利活用計画

■ 計画の期間

2015年度～2020年度までの5年間 ※2年間延伸中

■ 燃料電池自動車の生産計画を踏まえた段階別の基本指標（累計）

指標名	年度	Step1	Step2	Step3	実績
		平成29年度末 (2017年度末)	令和2年度末 (2020年度末)	令和4年度末 (2022年度末)	
水素ステーションの設置数		1か所	1か所	1か所	1か所 (R4.3現在)
燃料電池自動車、水素自動車等、車両数		70	200	200	37 (R5.2現在)
定置用燃料電池数 (「エネファーム」*等)		600	1,400	1,400	449 (R4.3現在)

これまでの
経緯等

1.平成26年4月「周南市水素利活用構想」策定

【構想期間：平成26年度（2014年度）～令和12年度（2030年度）までの17年間】

2.平成27年4月「周南市水素利活用計画」策定

【計画期間：平成27年度（2015年度）～令和2年度（2020年度）】

3.平成30年3月「周南市水素利活用計画」一部改訂 ※目標値の修正

4.令和 3年4月「周南市水素利活用計画」一部改訂 ※2年間の計画延伸

【計画期間：平成27年度（2015年度）～令和4年度（2022年度）】

5.令和 5年4月「周南市水素利活用計画」一部改訂（予定） ※1年間の計画延伸

【計画期間：平成27年度（2015年度）～令和5年度（2023年度）】

6.令和 6年4月「第二次水素利活用計画」策定（予定）

【計画期間：令和6年度（2024年度）～令和12年度（2030年度）】

これまでの取り組みを踏まえ、かつ、国や県、周南コンビナートの脱炭素化に向けたグランドデザイン等各政策との整合を図り、水素エネルギーの利活用を一層進めていく。

- | | | | | | |
|----|----------------------------|----|--------------------------------------|----|--------------------------------|
| ■国 | ・第6次エネルギー基本計画
・グリーン成長戦略 | ■県 | ・やまぐちコンビナート低炭素化構想
・徳山下松港港湾脱炭素推進計画 | ■市 | ・周南コンビナートの脱炭素化に向けた
グランドデザイン |
|----|----------------------------|----|--------------------------------------|----|--------------------------------|